

コレクションクエスト

ふだん公開していない収蔵物を紹介します。さあ、標本の世界を冒険だ!

文・写真/学芸員 古沢仁

2008年10月、森和久氏によって南区小金湯から発見された鯨類化石の一部です。私は最初に姿を現した5個の腰椎から、この化石が「セミクジラ類」と「ナガスクジラ類」のどちらに近いのかを調べてみることにしました。その結果、背骨が前後方向に長い「ナガスクジラ類」であろうという結論に達しました。



小金湯産クジラ化石(腰椎) SMAC731

ところが、2012年に頭部が発掘されると、頭の特徴はセミクジラ類だと判明。つまり、私の仮説は間違っていたのです。失敗は成功の母といいますが、間違いは大発見の父?といわれる研究の成果をできるだけ早く報告したいと思います。

File No.1 博物館クラブ

SMAC活動レポート

当センターで行われる、市民の自主的活動や、学校との連携など、様々な活動を紹介します。

この春、当センターに新しい仲間ができました。その名も「平岸高台小 博物館クラブ」。同小から、「『博物館活動センターでクラブ活動をしたい』と児童から相談を受けている」と連絡があり、当センターが協力することで発足したものです。センター内での実習には、12名のクラブ員が参加し、有孔虫(ゆうこうちゅう)※の化石を取り出す「化石クリーニング」を初体験。学芸員の手ほどきを受け、目を輝かせながら顕微鏡を覗きこむ子どもたちは、真剣そのものです。「知ることの喜びを伝えたい」と始めたセンター初の本格的なクラブ活動サポート。実習を終えた後、「将来こんな仕事がしたい」と興奮気味に話す子どもの姿に勇気付けられる思いがしました。



※脚注 有孔虫・・・主として石灰質の殻と網状仮足を持つアメーバ様原生生物



交通アクセス ■地下鉄南北線「澄川駅」北出口から徒歩約10分
■地下鉄南北線「南平岸駅」東出口から徒歩約15分

札幌市博物館活動センター infomation

入館料:無料
開館日:火曜～土曜 開館時間:10時～17時
休館日:日曜・月曜、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)



ホームページアクセス QRコード



発行 札幌市博物館活動センター

〒062-0935 札幌市豊平区平岸5条15丁目1-6 Tel: 011-374-5002 Fax: 011-374-5014
Email: museum@city.sapporo.jp ホームページ: http://www.city.sapporo.jp/museum/



ミュージズレターは、植物油インキおよび、環境省が定める「グリーン購入法」の適合紙を使用しています。

Muse Letter

札幌市博物館活動センター 情報誌 ミュース・レター

No.65
July 2016

クルマバツクバネソウ

羽子板の衝羽根(つくばね)に由来します。今で言うとバドミントンのシャトルが一番近いでしょうか。花びらはありませんが、葉、がく、雄しべ、雌しべが全て4の倍数で、その均整のとれた形は自然の妙としかいえません。初夏の登山道わきや林の縁で見られます。



札幌に生きる水草たち

写真: モエ沼の眺め



エゾノミズタデの花



タヌキモ類の花



コウホネの花



タヌキモ類



水面に広がるヒシ



○月×日 展示解説員 松橋杏子

移転オープンの日、再開を楽しみにしていた大勢の方が来館してくれました。お祝いの手紙を書いてきてくれた子や、休館中に質問できなかった疑問を解消し、すっきりした子、中にはお手製「化石かるた」を持ってきてくれた子もいました。

この「化石かるた」は図書コーナーに置いてあります。みなさんも楽しく遊んでちょっぴり化石に詳しくなってみませんか？

そして歩君、お姉さんは足りない札が増えていく事を楽しみに待っているよ！



このかるたは、当センターに何度も足を運んでくれている歩君が化石について調べ、1札1札作ったもの。写真や絵がたくさん散りばめられた素晴らしい作品です。でも、よく見てみると、「さ」の札が2種類ある！「お」の札は読み札しかない！50音ではなく14音しかない！など作っている途中で飽きちゃった様子が見え隠れ…。ですが、サッポロカイギョウを題材にした札も